

2011 年度 WES 8107 「溶接作業指導者認証」 新規受験のご案内

社団法人 日本溶接協会
溶接作業指導者運営委員会

溶接については、出来上がった製品から溶接品質の良し悪しを判断することが難しく、溶接施工時で生じた不具合がしばしば使用段階で見つかることがあります。このような不具合を未然に防ぎ、健全な溶接を行うためには、

- 1) 溶接に関する設計・施工計画を担う技術者（溶接管理技術者）
 - 2) 溶接施工現場での溶接作業および関連作業を指導・管理する指導員（溶接作業指導者）
 - 3) 実際に溶接作業を行う溶接士（溶接技能者）
- が互いに連携をとりながら溶接工事を進める必要があります。

実際の溶接現場においては、溶接管理技術者が決めたことを正確に理解・把握し、溶接技能者に的確に指示し、その通りに溶接が行われていることを管理・監督する溶接作業指導者の役割がとりわけ重要となってきます。

■ 溶接作業指導者認証制度とは

日本溶接協会規格 WES 8107「溶接作業指導者認証基準」に基づく認証制度とは、上記に該当する能力を第三者機関の立場から認証する制度で、1983 年から立ち上げ、2010 年 2 月時点で延べ約 1200 名の方が“溶接作業指導者”として認証されています。

■ 溶接作業指導者資格を取得するメリットとは

- ・溶接作業指導者を配置することで、顧客へ溶接品質に対する安心感を提供できる
- ・工事毎に溶接士が変わる工事などにおいて、溶接士の技量を見極めて、適正に配置することで、溶接製品の品質向上や溶接時間の短縮化ができる
- ・周囲から上級溶接技能者として評価され、ものづくり会社としての技術力や取得者本人の仕事の取り組み姿勢が向上する

■ 溶接作業指導者資格を取得するためには

受験資格（熟練溶接技能者）の審査を合格された方が WES8107 に基づいた下記講習会を受講し、学科試験に合格する必要があります。

ご参考 WES8107 に基づく講習会の開催日（今後 3 年間）

年度	前期（5月中旬～6月中旬）					後期（9月下旬～11月上旬）			
	北海道地区	東北地区	北陸地区	中国地区	四国地区	中部地区	関西地区	東部地区	九州地区
2011 年度	札幌	仙台	金沢	広島	新居浜	名古屋	大阪	東京	福岡
2012 年度	室蘭	青森	福井	松江	徳島	名古屋	大阪	東京	沖縄
2013 年度	札幌	秋田	富山	岡山	新居浜	名古屋	大阪	東京	福岡

【備考】 受講者数の人数によって、他の会場へ移動をお願いする場合があります。

1. 受験資格

以下の(1)と(2)をすべて満たすこと。

- (1) 満25歳以上の方
- (2) JIS Z3801（手溶接），JIS Z3805（チタ），JIS Z3811（アルミニウム），JIS Z3821（ステンレス）、JIS Z3841（半自動）もしくは公的な団体が実施する技能検定^{注1}において下記の資格を所持している方、または所持していた方。
 - a) 管の突合せ継手で裏当て金なしの資格が3年を越えていること。
 - b) 板の突合せ継手で裏当て金なしの下向以外の異なる2姿勢以上の資格がそれぞれ3年を越えていること。
 - c) 上記以外の場合で、下向以外の姿勢の資格保持期間が通算9年を越えていること（連続しなくてもよい）、ただし2種目以上の資格が重なった期間は重複して加算しない。

注1：ボイ溶接士（厚生労働省）、石油工業溶接士（日本溶接協会）、NK溶接士技量資格（日本海事協会）、建築鉄骨溶接技能者技量検定（AW検定協議会）などが該当します。不明な方は下記の申込先までご相談下さい。

2. 受講・受験の内容について

2.1 受講項目

表1 評価試験の内容

	受講・受験		受講・受験料 (消費税込み)
	講習会出席	学科試験	
新規受講・受験者	○ (3日間の受講)	○	49,350円
新規受講・受験者 (WES8103の取得者)	○ (3日目のみの受講)	○	18,900円
再試験者 (追試験)	—	○	12,600円

2.2 講習会の内容

表2 講義内容（講義の順序と時間配分は変更することがあります）

日程	講義内容	時間割
第1日	溶接指導の一般的知識 / 非破壊試験	9:00-12:00
	被覆アーク溶接・厚板と高張力鋼の溶接及び切断	13:00-16:30
第2日	半自動アーク溶接・薄板の溶接	9:00-12:00
	ティグ溶接・ステンレス鋼の溶接	13:00-15:00
	自動溶接・ロボット溶接 / 最近の溶接技術	15:00-16:30
第3日	溶接における品質管理と作業管理 /	9:00-12:00
	溶接構造物の強度と設計 / 安全衛生とその管理	13:00-15:30
	学科試験	15:30-16:30

[備考] 講習会で使用するテキスト「新版溶接実務入門(増補版)」は申込要領(同封の別紙 又は日本溶接協会のホームページからダウンロード)に従って事前にご購入ください。会場での販売は行っていません。なお、受講に際しては、上記テキストにより予習されることをお勧めいたします。

2.3 2011年度講習会

表3 2011年度 講習会の予定

地域		開催日程	開催場所	受付期限
前期	金沢	2011年5月16日(月)	北陸地区溶接技術検定委員会 〒920-3116 金沢市南森本町3-3-1 TEL 076-257-4841	開催日の 2週間前
		17日(火)		
		18日(水)		
	2011年5月19日(木)	東北地区溶接技術検定委員会		
	20日(金)	〒981-3206 仙台市泉区明通4-5-5		
21日(土)	TEL 022-378-8200 東日本大震災により中止			
広島	2011年5月26日(木)	中国地区溶接技術検定委員会 〒731-3166 広島市安佐南区大塚東3-8-11 TEL 082-848-0511		
	27日(金)			
28日(土)				
新居浜	2011年6月2日(木)	四国地区溶接技術検定委員会 〒792-0896 愛媛県新居浜市阿島1-5-56 TEL 0897-47-5627 (4/18以降有効)		
	3日(金)			
	4日(土)			
札幌	2011年6月8日(水)	北海道地区溶接技術検定委員会 〒003-0808 札幌市白石区菊水8条3-11-15 TEL 011-822-6678		
	9日(木)			
	10日(金)			
後期	名古屋	2011年9月28日(水)	中部地区溶接技術検定委員会 〒457-0823 名古屋市南区元塩町6-25-5 TEL 052-613-2081	開催日の 2週間前
		29日(木)		
		30日(金)		
	大阪	2011年10月13日(木)	大阪YMCA国際文化センター3階302号室 〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-5-6 TEL 06-6441-0893	
14日(金)				
15日(土)				
東京	2011年10月20日(木)	総評会館 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2-11 TEL 03-3253-1771		
	21日(金)			
	22日(土)			
福岡	2011年11月3日(木)	福岡商工会議所(605会議室) 〒812-8505 福岡市博多区博多駅前 2-9-28 TEL 092-441-1116		
	4日(金)			
	5日(土)			

[備考] 受講・受験者数の人数によって、他の会場へ移動をお願いする場合がありますので、ご了承ください。

3. 受験・受験申請手続きについて

3.1 提出書類

- ・WES8107 溶接作業指導者 受講・受験申込書(裏面に適格性証明書(溶接技能者)あるいは免許書(ボイラー溶接士など)などの貼付)
- ・該当する受験条件の詳細
- ・受講・受験者確認書(裏面に払込票兼受領書の貼付)

3.2 受講・受験料

同封の郵便振替払込用紙で、郵便局より払込下さい。受講・受験料は表1をご参照下さい。残金は購入要領に基づいて受験者自身で購入願います(受講・受験料には含まれていません)。

[注記] 受験日の前日までに取消の申出があった場合、10%の手数料を差引いた金額を返金いたしますが、それ以外は返金いたしませんのでご注意ください。

3.3 申込先

受講・受験を希望される方は下記に連絡ください。

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 1-11 (産報佐久間ビル 9 階)

社団法人 日本溶接協会 事業部 WL 事務局

TEL 03-3257-1525 FAX 03-3255-5196

[注記] 受講・受験料は、同封されている郵便振替払い込み用紙で郵便局より払い込み、振込控えの貼りを必ず確認書の裏面に貼付ください。

3.4 受付期間と受講・受験票の送付

表 3 に示す受付期限（講習会開催日の 2 週間前）までに、提出書類を申込先までご提出下さい。申込受付後（入金確認後）に試験演習問題集を、また講習会開催日の約 2 週間前に受講票を送付いたします。当日はテキストおよび演習問題集は必ず持参ください。

3.5 再試験（追試験）

学科試験で所定の点数を得られなかった方は、その翌々年度までに 1 回限り再試験（学科試験）を受けることができます。この場合、講習会の受講は免除されます。

4. 試験結果の発表と登録申請について

試験に合格し、認証委員会で承認された場合、申込書に記入された送付先（勤務先か個人住所宛）に合否の結果を書面により通知します。電話による照会には、一切応じられませんのでご了承下さい。

合格した場合、合格通知と同時に認証登録申請書が送付されますので、申請書の提出と認証登録料の払込が必要となります。

認証登録料：10,500 円（消費税込み）

5. 適格性証明書の交付について

登録申請書受領後、前期講習会の場合、8 月下旬頃に 9 月 1 日付け登録の、また後期講習会の場合、2 月下旬頃に 3 月 1 日付け登録の適格性証明書が交付されます。

6. 資格更新について

6.1 認証の有効期間

資格認証の有効期間は、資格登録日より 3 年間です。

6.2 サペィアンス

資格登録後 3 年を経過する前に、書類審査を行い（サペィアンス）、合格すれば有効期間を 3 年間延長した適格性証明書が交付されます。サペィアンスは 2 回まで受けることができます（延べ有効期間は最大 9 年です）。

手続きについては、期限の 2～3 ヶ月前に事務局より案内を発送します。サペィアンス手続きについては、費用 6,300 円（消費税込み）が発生いたします。

6.3 再認証

資格の登録後9年を経過する前に（すなわち、サバイブスを2回受けてから更に3年を経過する前）、資格の更新を希望する場合は、WES8107：2004「溶接作業指導者認証基準」に基づく再認証審査を受ける必要があり、費用が発生します。金額については「再認証のご案内」をご参照下さい。

●キャリア形成促進助成金の制度について

- この研修会は、キャリア形成促進助成金の支給対象になる可能性があります。助成金の申請を希望される方は、必ず雇用・能力開発機構都道府県センターへお尋ねいただきますようお願い申し上げます。
- 都道府県センターへのお問い合わせ電話番号は 0570-001154（全国どこでもナビダイヤル）全国どこでも最寄りの都道府県センターへ自動的に転送されます。
キャリア形成促進助成金の受給を希望される事業所につきましては、雇用保険適用事業所毎に、その所在する地域の都道府県センターに、助成金の受給資格認定申請を行っていただく必要があります。